

地域に貢献できる島唯一の工業高校をめざして

沖縄県立宮古工業高等学校

校長 喜納 兼信

本校は、昭和 43 年に琉球政府立宮古産業技術学校として開校し、現在では工業系学科として自動車機械システム科および電気情報科、家庭系学科として生活情報科を設置する専門高校です。おかげさま 58 年目を迎え、輝かしい歴史と伝統を持つ地域に根ざした学校です。

本校の教育目標として、宮古地区はもとより県内外の産業界を支えることのできる人材、そして社会に貢献できる「将来のスペシャリスト」を育成することを教育目標に掲げています。校訓である「敬愛・自主・創造」のもと、これまでに卒業生 7204 名が巣立ち、県内外の各分野において活躍しております。高校生活で取得した各種資格を存分に生かし島内外での就職をはじめ、さらなる専門知識・技術の習得に臨むため、大学や専門学校等へ進学した生徒も数多くいます。

これからも自ら学んだ知識や技術を通して「地域貢献」をテーマに様々な取り組みを推進して参ります。塗装技術を通して宮古島のシンボルである「宮古島まもる君」の修繕、金属加工によるベンチやテーブルの製作と地域への寄贈、伝統工芸である「宮古織」を用いたマース袋やコースターの小物製作等を含め宮古島唯一の工業高校ならではの教育活動を模索しながら実践して参ります。

生徒たちは、これらの活動を通して宮工生としてのプライドを持ち、将来の夢実現に向けて資格取得や各種コンテスト・競技大会への出場、部活動に励み、日々充実した高校生活を送っています。

職員一同、生徒や保護者、地域の皆様の教育的ニーズに応えるべく、さらなる連携強化に努めながら、生徒個々の良さを伸ばさせ、将来のキャリアビジョン、ライフビジョンの実現に向けて支援を行います。これから大きく変遷する時代にも対応し「持続可能な社会」を創造できる人材育成に全力で取り組んで参ります。

その結果、生徒一人ひとりが「入学して良かった」、保護者や地域から「入学させたい」と思っただけの学校に成長すべく、「チーム宮工」として全職員がスクラムを組んで教育活動を推進して参ります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 4 月